

カーブTMsc

- 登録番号／第22946号
- 有効成分／プロピザミド 36.0%
- 性状／淡褐色水和性粘稠懸濁液体
- 包装／10 x 10
- 有効年限／5年

適用芝と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	プロピザミドを含む農業の総使用回数
			薬量(ml/m ²)	希釈水量(ml/m ²)			
日本芝	一年生雑草 (キク科を除く)	芝生育期 (雑草発生前)	0.4~0.6	200~300	2回以内	全面土壌 散布	2回以内
	スズメノカタビラ	芝生育期 (秋冬期スズメノカタビラ発生初期)					

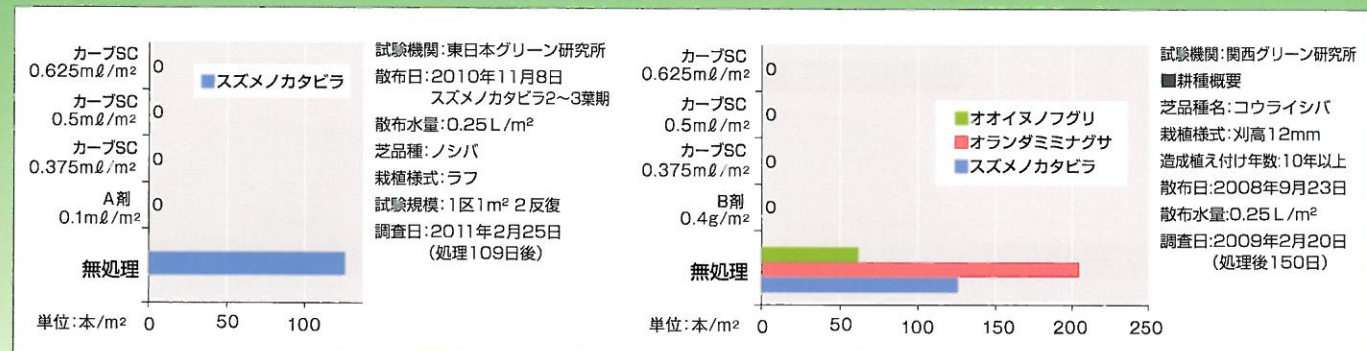
安全性データ

試験項目	供試動物	結 果
急性経口毒性	マウス	LD50>5,000mg/kg
急性経皮毒性	ウサギ	LD50>5,000mg/kg
眼刺激性	ウサギ	軽微
皮膚刺激性	ウサギ	軽度
皮膚間感性	モルモット	陰性
水棲生物への 急性毒性試験	ニジマス	LC50・96時間 5.73mg/L
	オオミジンコ	EC50・48時間 >99.2mg/L
	藻類	ErC50・72時間 10.4mg/L



スズメノカタビラ

試験事例



使用上の注意

- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 本剤はキク科雑草には効果が劣るので、使用に当たっては注意してください。
- 本剤は雑草の発生後では効果が劣るので、散布は必ず雑草の発生前土壌全面に均一に行ってください。(スズメノカタビラの発生初期を除く。)
- 必ずターフが形成された芝生に使用してください。ペントグラス系の芝には薬害が生じますので使用はさけてください。
- 土壌処理型除草剤は、一般的に散布後速やかに土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきることを。散布器具の洗浄水等は河川等に流さないこと。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。



マスク着用

- ★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- ★空容器は圃場等に放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。★防除日誌を記載しましょう。

本資料は2012年6月現在の知見に基づいて作成されています。

製造・販売 **ダウ・ケミカル日本株式会社**
ダウ・アグロサイエンス事業部門

本社／東京都品川区東品川2丁目2番24号 天王洲セントラルタワー
〒140-8617 URL <http://www.dowagro.com/jp>
営業拠点／札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

取扱

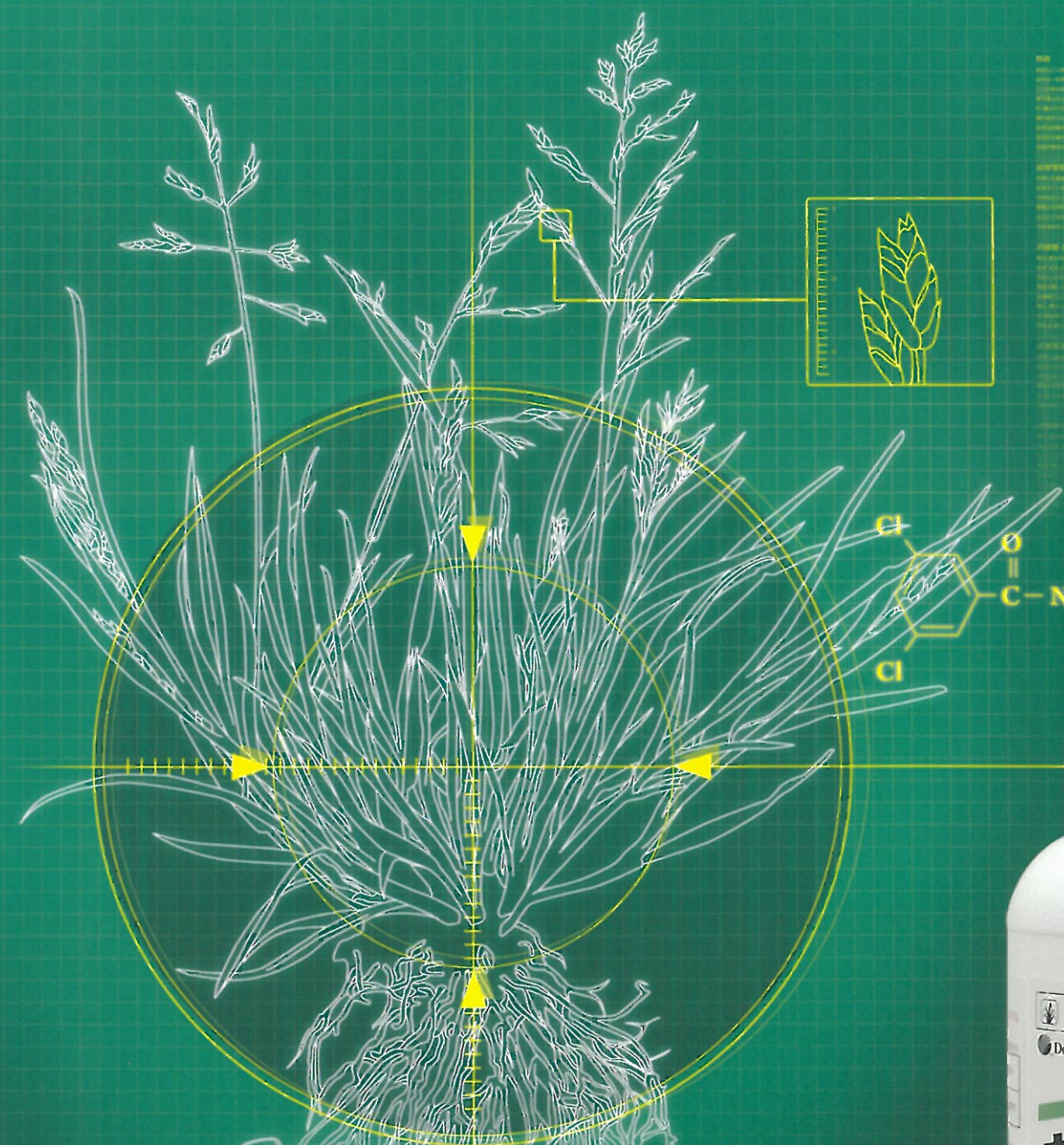


芝 生 用 除 草 剤

対象作物 ▶ [日本芝] コウライシバ
ノシバ

適用雑草 ▶ 一年生雑草

スズメノカタビラにロックオン!



スズメノカタビラ
Poa annua L.

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

スズメノカタビラは、日本芝の発生初期から発生後にかけて、土壌に吸着され処理層を形成しますが、散布後の急激な降雨などにより一部池などに流れ込む場合があります。散布に当たっては周囲の状況や気象に十分注意してください。

カーブTMsc

プロピザミド水和剤



TM: ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標

新しく生まれ変わったカーブ。時期に合わせた散布でキメ撃ち可能。

「カーブSC」は、プロピザミドを有効成分とする酸アミド系の除草剤です。土壌処理により薬剤の処理層を形成し、雑草種子から発芽・発根した幼芽・幼根の生長点で細胞分裂を阻害して除草効果を発揮します。特にスズメノカタビラに卓効を示し、これまでは「カーブ水和剤」としてご使用頂いておりましたが、このたび発売の新剤では、スズメノカタビラ発生初期散布の登録を取得することができ、さらに使用しやすくなりました。

こんな方におすすめです！

計量しやすい ものが良い！

液状なので計量しやすく、準備時間が短縮できます。



薬剤が容器に残り にくいものが良い！

広口ボトルだからすすぎも簡単で、薬剤が容器に残りにくく最後まで使えるので経済的です。



粉立ちしない ものが良い！

SCだから粉立ちせず、作業の効率を高めます。



臭いがしない ものが良い！

薬剤特有の臭いが少ないから、作業者のストレスを軽減します。



キレ味鋭い新カーブで、芝生の守りをムリなく強化！

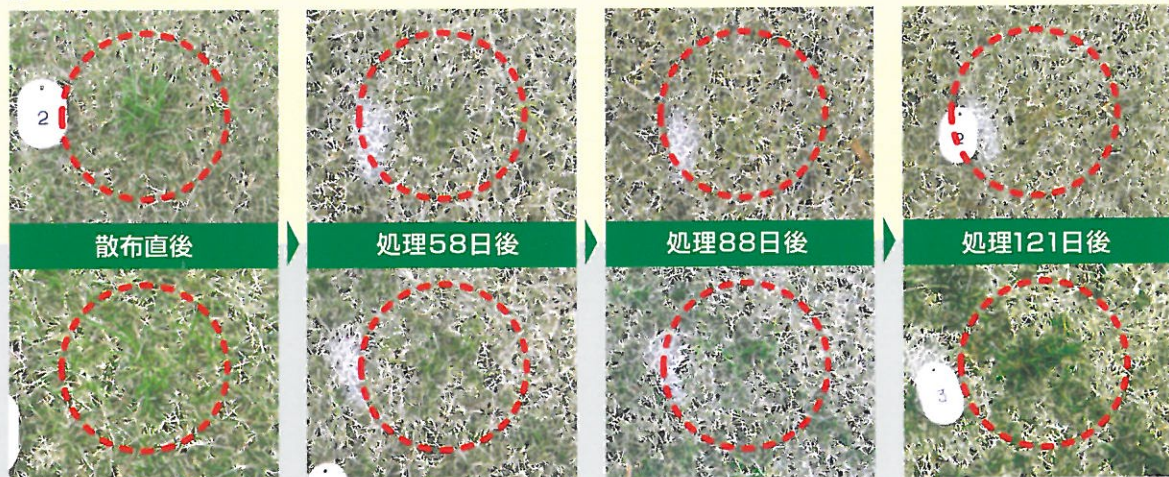
いつでも

散布時期を選ばず効果的に除草！

スズメノカタビラにおいて、発生後(初期)散布の効果が公認された新カーブ。薬剤の処理層が土壌に形成され、そこから薬剤が吸収されることで効果を発揮します。茎葉からの直接吸収はほとんどないため、発生後処理でも薬剤を土壌表面に均一にムラなく散布してください。根部から吸収されたプロピザミドは、植物体の生長点に作用し、細胞分裂を阻害して雑草を枯死に至らせます。

下写真はスズメノカタビラに生育期処理をした試験例。発生後の駆除ばかりか、発生前の抑制効果までも示しています。

カーブSC 0.5ml/m²



無処理

■試験方法

カーブSCのスズメノカタビラ生育期への効果

試験場所：宇都宮大学構内芝生

区制面積：1区1m² 1連制

水量：0.25L/m²

散布日：2011年11月29日

調査：連観により枯死程度を調査した。

0(効果無)～100(完全枯死)

処理薬剤・薬量

処理薬剤	薬量
カーブSC	0.5ml/m ²
無処理	

■試験結果

処理薬剤	薬量	29DAT	58DAT	88DAT	128DAT
カーブSC	0.5ml/m ²	0	30	70	100
無処理		—	—	—	—

枯死程度(%)

●カーブSC散布後、1～2か月後ではあまり枯死症状が見られなかった。無処理区と比較して後発のスズメノカタビラは抑えていた。

●薬剤処理3か月後から枯死症状が顕著に現れ始めた。薬剤処理4か月でほぼ枯死した。

●今回の冬季処理は例年と比較して寒さが厳しいため、枯死症状が薬剤処理4か月後に現れたと思われる。カーブSCは土壌処理効果により雑草枯死するので冬季低温傾向が続くと、植物体の生育も活発でないため、薬剤の吸収もゆっくりで効果発現が遅かったものと推察する。

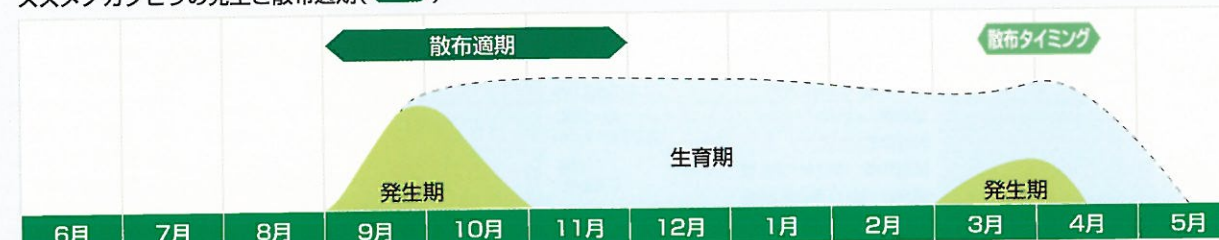
※ベントグラス系の芝には薬害が生じますので使用はさせていただきます。

ムダなく

時期に沿った使用量でムダを省く！

新カーブの推奨薬量は0.5ml/m²です。スズメノカタビラの場合、特に低温時の残効に優れますので、発生状況を睨みながらの散布がより効果的。秋期散布で120日以上と長い残効と併せ、経費節減にも大いに役立ちます。

スズメノカタビラの発生と散布適期(→)



低温時での残効が優れています。高温時では持続効果が期待できません。

ムラなく

分散性が良いのでムラなく散布！

●懸垂率が従来の水和剤よりも向上 ●水和剤比：約3%向上

SC製剤では粒子がさらに細くなっているため懸垂率が向上。より安定した薬液が調整できます。(これまでと同様に攪拌機等を使用して薬液を調整してください)



スズメノカタビラはこんな雑草！

■スズメノカタビラ *Poa annua* の生態 宇都宮大学 小笠原 勝教授 監修

スズメノカタビラ類：2つの変種から成る

Poa annua var. *annua*：スズメノカタビラ 基部以外の節から発根せず、一年生
Poa annua var. *repens*：ツルスズメノカタビラ 基部以外の節から発根し、一年生～多年生、直立型～匍匐型

スズメノカタビラ類は耐寒性、耐陰性、耐踏圧、耐刈り込みに富む芝地の代表的なイネ科雑草である。和名は小さいという意味の「雀」と、小花の護穎が透けて見えることに由来する「帷子」の合成語である。スズメノカタビラ類は直立型で一年生の変種(スズメノカタビラ)と直立型～匍匐型で一年生～多年生の変種(ツルスズメノカタビラ)に分けられる。実際の芝地では、ツルスズメノカタビラが圧倒的に多い。

グリーン由来のスズメノカタビラ(正確には、ツルスズメノカタビラ)は草高や花序数(穂数)などの形態において、果樹園由来のスズメノカタビラと大きく異なります。この形態の変化は、グリーン上に発生するスズメノカタビラが強度の刈込や



果樹園



グリーン系統

踏圧などの環境ストレスを長年にわたって受けたために生じた結果と考えられます。日本では、スズメノカタビラは数種類程度しか分類されていませんが、海外では数十種類以上分類されています。